

平成 27 年度 事業報告

平成 27 年 4 月 1 日 から

平成 28 年 3 月 31 日まで

当一般財団法人は、産業廃棄物の適正な処理その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的に設立（平成 3 年 11 月 11 日）された法人であり、県民に信頼される廃棄物処理センターとして廃棄物の受入れを推進し、関係法令等を遵守した適正な処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する情報の発信や啓発事業に取り組み、県民の快適な生活環境の向上に努めた。

1 廃棄物処理事業

(1) 適正な廃棄物処理・管理の推進

平成 27 年度は、受入れ日数が 241 日で受入量は 47,182 トン（前年度比較 9,343 トン減）、1 日平均受入量では 195.78 トン（前年度比較 37.8 トン減）となり、受入量は前年度比 16.5% の減少（焼却対象廃棄物 27.5% 減、埋立対象廃棄物 14.7% 減）となった。

平成 27 年度受入計画との比較では、18.7% の減となっている。これは、埋立対象廃棄物のうち解体工事に伴って発生するがれき類の受入量が当初見込量を大幅に下回ったこと、平成 27 年度末での焼却業務休止を見据えて、処理委託先を他社に変えた事業者もいることなどによるものである。

なお、放射性物質が検出された廃棄物の受入れに当たっては、焼却対象廃棄物は 800 ベクレル/kg 以下、埋立対象廃棄物は 8,000 ベクレル/kg 以下のものを受入れたほか、場内の空間放射線量及び放射能濃度（排ガス、排水、自家焼却灰等）についても定期的に計量証明機関に委託し測定を行った。

(2) 環境保全の推進

環境・水質調査の実施による環境影響評価の継続的監視を行った。排ガス、排水等の測定結果は、いずれも地元市と締結している環境保全協定値を超えることはなかった。

(3) 安全キャンペーンの実施

いわてクリーンセンター及び施設管理運営委託業者の職員合同で、収集運搬業者等に対し、荷降ろしする際の安全確認の徹底（平成 27 年 7 月 21 日～27 日）や指定ルートへの厳守及び無断駐車禁止の喚起（同年 10 月 7 日～14 日）などのキャンペーンを行った。

(4) 第Ⅱ期最終処分場 C 区画整備工事の実施

第Ⅱ期最終処分場 C 区画について、A 区画、B 区画の埋立終了後、継続的に埋立ができるよう、遮水シート、集水管の設置等の整備工事（工期：平成 26 年 4 月 4 日～平成 27 年 4 月 30 日）を行い、完了した（事業費 425,069 千円（税込み））。

(5) 電気伝導率異常事象への対応

第Ⅱ期最終処分場地下水集排水設備から排出される水の電気伝導率が平成 26 年 3 月 18 日から上昇した事案について、平成 26 年度に実施した原因調査結果を踏まえ、浸出水導水管の改築（さや管の挿入及びモルタルでの固定）、浸出水導水管の基礎部補強（地盤を掘削しソイルセメントで埋戻し）、開削した遮水シートの浸出水導水管への接合、復旧等の工事を行った（契約額 99,255 千円（税込み））。

(6) 焼却業務休止への対応

平成 27 年度末の焼却業務休止に向けて、焼却炉の排ガス冷却水として利用していた浄化槽排水の切替工事を行うとともに、受託事業者等に対して受入れ終了日の周知と受入種類・量の段階的な制限を行いながら、平成 28 年 2 月 29 日を以って焼却対象廃棄物の受入れを終了した。その後、受入れた廃棄物の焼却処理が完了し、3 月 23 日に焼却炉の稼働を停止した。

また、余熱利用施設「えさしクリーンパーク」については、熱源を重油ボイラーに切替えるとともに、焼却炉の排ガス冷却に活用していた生活排水を放流するための管敷設等の工事（県負担）を行った。

(7) 次期産業廃棄物最終処分場の整備

東日本大震災津波の災害廃棄物を受入れたことにより、当センターの埋立終了時期が早まる見通しとなったことから、岩手県において次期産業廃棄物最終処分場の整備候補地の選定を進めていたが、平成 27 年 3 月、八幡平市平館（柵沢）地区を整備予定地とすることが決定された。その後、岩手県から当事業団を次期産業廃棄物最終処分場の運営（事業）主体と決定した旨の通知（平成 27 年 9 月 8 日付け）があった。

以後、岩手県からの業務支援（6 名）を受けて整備事業の準備に着手し、平成 28 年 2 月に八幡平市平館（柵沢）地区最終処分場基本計画・基本設計業務委託について、同年 3 月に測量業務委託について、それぞれ契約を締結した（契約額合計 179,431 千円（税込み））。

2 廃棄物の適正処理及びリサイクルの普及啓発事業

(1) 事業者等に対する普及啓発

事業者等からの廃棄物処理相談等の機会をとらえ、処理方法の助言やリサイクル事業の取組事例等の紹介を行うなど、普及啓発に取り組んだ。

(2) 電子マニフェストの普及

電子マニフェスト普及のため、広報ポスターの掲出等に取り組んだ（平成 27 年度電子マニフェスト利用件数 4,970 件）。

(3) 視察者等に対する啓発

県内外からの視察者（平成 27 年度 377 名）等に対し、施設案内や DVD（施設紹介）、パネル（廃棄物の定義と種類、リサイクル事業例等）、廃棄物サンプル等を使用して、最終処分場の現状や不法投棄の防止、リサイクルの促進など、環境保全への意識啓発に取り組んだ。

また、隣接する余熱利用施設「えさしクリーンパーク」内に余熱利用に関するパネルの常設展示を行い、廃棄物処理事業に対する県民（利用者）の理解促進に取り組んだ。

(4) 情報公開

ホームページ内容を概ね毎月2回以上更新し、最終処分場等施設や環境測定結果等に関する最新情報を提供した（平成27年度閲覧件数12,272件）。

（主な掲載項目）

- ・ 事業団概要、施設概要、利用案内、施設見学案内、種類毎の受入基準
- ・ 搬入予約、処理料金、事業計画及び収支予算、事業報告及び決算
- ・ 環境測定結果、廃棄物一口メモ、廃棄物処理Q&A等

3 自然環境保全等事業

(1) 周辺環境美化活動

いわてクリーンセンター及び施設管理運営委託業者の職員合同でセンター周辺道路の環境美化活動「クリーン作戦」を年2回行った（1回目：平成27年4月6日／2回目：同年10月5日）。

(2) 希少植物保全事業

ビオトープに移植した希少植物の生育状況を定期的に観察・調査し、必要に応じて専門家の意見を参考に保全を図った。

また、児童等を対象に希少植物観察会を開催し、希少植物の保護や自然環境保全の意識の高揚を図った（平成27年8月1日 児童33名、保護者等23名）。

4 管理業務等

(1) 理事会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議案
平成27年 4月13日	第20回理事会	(決議の省略)	1 理事候補者の選任 2 評議員候補者の選任 3 第7回一般財団法人クリーンいわて事業団臨時評議員会の開催
平成27年 5月13日	第21回理事会	岩手県水産会館	1 平成26年度事業報告の承認 2 平成26年度決算の承認 3 平成26年度公益目的支出計画実施報告書の承認 4 一般財団法人クリーンいわて事業団定時評議員会の開催 (報告事項:平成27年度県出資等法人運営評価)
平成27年 7月24日	第22回理事会	岩手県産業会館	1 次期産業廃棄物最終処分場に関する運営主体の承引 (報告事項:職務執行状況の報告)

平成 27 年 10 月 30 日	第 23 回理事会	岩手県産業会館	1 平成 27 年度収支補正予算 2 平成 27 年度長期借入金の借入限度額 3 一般財団法人クリーンいわて事業団諸規程の一部改正 (報告事項:職務執行状況の報告)
平成 28 年 1 月 19 日	第 24 回理事会	岩手県水産会館	(報告事項:職務執行状況の報告)
平成 28 年 3 月 16 日	第 25 回理事会	岩手県水産会館	1 平成 27 年度収支補正予算(第 2 回) 2 中期経営計画(平成 27 年度～平成 30 年度) 3 平成 28 年度事業計画及び収支予算 4 平成 28 年度長期借入金の借入限度額 5 事務局長の選任 6 第 8 回一般財団法人クリーンいわて事業団臨時評議員会の開催 (報告事項:職務執行状況の報告)

(2) 評議員会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議案
平成 27 年 4 月 30 日	第 7 回 臨時評議員会	(決議の省略)	1 理事の選任 2 評議員の選任
平成 27 年 5 月 28 日	第 4 回 定時評議員会	岩手県産業会館	1 平成 26 年度決算の承認 (報告事項:平成 26 年度事業報告、平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書)
平成 28 年 3 月 25 日	第 8 回 臨時評議員会	岩手県産業会館	1 中期経営計画(平成 27 年度～平成 30 年度) 2 平成 28 年度事業計画及び収支予算 (報告事項:平成 27 年度第 1～4 四半期(2 月末)事業等実施状況)